

計画の名称	昇龍道Ukiyoe-Routeで国際大交流時代を拓く愛知静岡広域観光活性化計画（重点）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	静岡県												
計画の目標	愛知県と静岡県を貫く「昇龍道 Ukiyoe-Route」（中部北陸における広域観光プロジェクト「昇龍道」のモデルコース）には、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など有名武将ゆかりの優れた歴史観光資源や、浜名湖をはじめとする多様な自然資源が数多く存在する。愛知県と静岡県では、中部圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「3.新たな観光交流おもてなしプロジェクト」を推進するため、これらの地域資源を最大限活用したテーマ性やストーリー性のある広域観光周遊ルート形成などの取組に合わせ、必要な基盤整備事業を実施することで、昇龍道エリアの魅力の更なる向上や、国内外からの誘客拡大を図り、当地域の観光交流拠点としての発展につなげていく。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,795	A	6,795	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R7
1	愛知県静岡県共通 観光客数16,395万人（R1）から16,937万人（R7）に増加（578万人（3.3%）増） 愛知県静岡県共通 観光客数（愛知県：「豊橋・三河湾」他4地区、静岡県：「西北遠」他2地区） （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - R1の年間観光客数）/（R1年間観光客数）	16395万人	万人	16937万人
2	静岡県単独 観光客数4,889万人（R1）から5,006万人（R7）に増加（117万人（2.4%）増） 静岡県単独 観光客数（静岡県：「西北遠」、「中東遠」、「西駿河・奥大井」） （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - R1の年間観光客数）/（R1年間観光客数）	4889万人	万人	5006万人
3	【個別要素事業 A11-014】二級河川黒石川流域における浸水被害戸数を341戸（R3）から319戸（R7）に軽減 二級河川黒石川流域における浸水被害戸数（浸水被害戸数（目標値））=（浸水被害戸数（当初現況値））-（本計画での浸水被害軽減戸数） （本計画での浸水被害軽減戸数）=（整備計画対象降雨（S57）に対する浸水想定戸数）×（本計画での整備延長 / 整備計画全体延長）	341戸	戸	319戸
4	【個別要素事業 A11-015】三保棧橋を介して三保地域を訪れる観光客数 40,000人（R3）から46,720人（R7）に増加（6720人（約17%）の増加） 三保棧橋の利用者数（三保棧橋を離発着する船舶の年間利用者数） （利用者数の増加割合）=（評価時点の利用者数 - R3の年間利用者数）/（R3年間利用者数）	40000人	人	46720人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
その他事項については、備考-1に記載。指標3及び指標4の当初現況値は指標を追加した令和3年度の数値とする。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府 県道	修繕	(主)掛川浜岡線ほか (掛川市塩町) 1-A11-1	舗装補修 L=3.6km	掛川市						500		策定済
	A11-002	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	交通安 全	(国)301号(湖西市横山)) 1-A11-2	道路拡幅・自転車走行空間L= 0.52km	湖西市						800		-
	A11-003	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)150号御前崎拡幅(御前崎市合戸) 1-A11-3	現道拡幅 L=2.0km	御前崎市						1,600	1.9	-
	A11-004	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府 県道	修繕	(一)上青島焼津線ほか (焼津市三ヶ名) 1-A11- 4	舗装補修L=3.0km	焼津市						500		策定済
	A11-005	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)150号磐南 BP(磐 田市塩新田) 1-A11-5	バイパス L=1.3km	掛川市						1,660	1.7	-
	A11-006	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	重要港 湾	改良	御前崎港(臨港道路) 1 -A11-7	道路改良L=0.2km	御前崎市/御前 崎港・御前崎地 区						50		-
A11-007からA11-006に変更(R4)																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	地方港湾	改良	浜名港(航路) 1-A11-8	航路改良 A=25,000m ²	浜松市/浜名港・港内地区						250	-	
	A11-008からA11-007に変更(R4)																		
	A11-008	提案	一般	静岡県	直接	静岡県	-	支援事業	浜名湖サービスエリア 1-A11-9	浮棧橋 N=1式	浜松市							250	-
	A11-009からA11-008に変更(R4)。港湾整備(A11-007)にあわせ、浜名湖内への係留設備の設置により舟運の活性化を図り、浜名湖内に点在する観光資源の連携強化を図る。																		
	A11-009	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府県道	修繕	(一)上青島焼津線ほか(焼津市ほか) 1-A11-10	道路照明LED化 N=300基	焼津市ほか							100	-
	A11-010からA11-009に変更(R4)																		
	A11-010	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府県道	修繕	(主)掛川浜岡線ほか(掛川市) 1-A11-11	道路照明LED化 N=15基	掛川市							5	-
	A11-011からA11-010に変更(R4)																		
	A11-011	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	修繕	(国)150号ほか(御前崎市ほか) 1-A11-12	道路照明LED化 N=30基	御前崎市他							10	-
	A11-012からA11-011に変更(R4)																		
	A11-012	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	修繕	(国)301号(湖西市) 1-A11-13	道路照明LED化 N=100基	湖西市							30	-
	A11-013からA11-012に変更(R4)																		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-013	河川	一般	静岡県	直接	静岡県	二級	改良	(二)黒石川(焼津市小川)1-A11-14	河道拡幅 L=180m	焼津市						560	60.3	-	
		A11-014からA11-013に変更(R4)																		
	A11-014	港湾	一般	静岡県	直接	静岡県	拠点港湾	改良	清水港(水上交通船係留施設)	栈橋、浮栈橋 N=1基	静岡市							480		-
		A11-015からA11-014に変更(R4)																		
												小計						6,795		
											合計						6,795			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	464	468			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	464	468			
前年度からの繰越額 (d)	0	211			
支払済額 (e)	253	335			
翌年度繰越額 (f)	211	344			
うち未契約繰越額(g)	186	47			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	40.08	6.92			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議に期間を要したため				